

～270人の想いを紡ぐ、昭和から受け継がれる志木の夏の風物詩～

第51回「民踊流し」を開催！

志木市観光協会（会長：星野博之）では、敷島神社祭典にあわせ、市内の町内会や婦人会をはじめとした地域の皆さんなど、総勢約270人が華やかな浴衣を着て本町通り（約650メートル）を盛大に踊る「民踊流し」を開催します。

1 日時 令和7年7月19日（土） 19時30分～21時（雨天中止）

2 場所 県道保谷・志木線「本町通り」（本町1丁目から5丁目）

3 参加者・舞踊曲

参加者 約270人（11団体・個人参加21人）

舞踊曲 志木音頭、志木おどり

4 その他

民踊流しは、町内会、商工会、連合婦人会、文化協会など、多くの関係機関・団体の協力のもと、昭和48年から続く志木市の夏の恒例行事で、郷土の踊音楽として「志木音頭」と「志木おどり」を後世に引き継ぐ催しとなっています。

昨年度に引き続き、町内会や民踊団体の参加だけでなく個人参加も募りました。



記者発表資料

令和7年6月30日

市民生活部産業観光課

商工労政グループ

担当者／前田（主事）

電話番号／048-475-7360

志 木 市